

## 若葉区地域活性化支援事業 評価シート

団体名 特定非営利活動法人 縁・ENISHI

事業名 子ども食堂

No.	評価項目	採点の考え方	評価の基準	評価
1	事業の実施状況	実施時期・場所、実施回数、事業規模、費用など、事業が申請時の計画どおりに進められたか。	A：計画を上回って実施できた B：計画どおり実施できた C：計画どおりに実施できなかった	B
2	事業目的の達成度	申請時に掲げた目的が達成されたか。達成に複数年要する目標の場合は、事業の成果が事業目的の達成につながっているか。	A：達成できた又は達成に十分つながった B：達成まであと一歩だった 又は達成に多少はつながった C：達成には不十分だった	B
3	事業成果の有効性	事業の成果は、制度目的である地域課題の解決や地域活性化につながったか。	A：制度の目的に十分に寄与するものだった B：制度の目的に多少は寄与するものだった C：制度の目的に寄与しなかった	B
4	PR活動の積極性	事業への参加者・協力者を増やすとともに、自団体の活動をPRするために積極的な周知が行われたか。	A：様々な媒体を活用し積極的なPRが行われた B：小規模ではあるが一定のPRが行われた C：PRはあまり行われなかった	B
5	外部団体との交流	事業の実施をきっかけとして、外部（他団体、地域住民など）との交流が行われ、団体構成員の増加や新たな事業計画の検討など団体の活性化が図られたか。	A：外部との交流が行われ、団体の活性化につながる具体的な成果があった B：外部との交流が行われたが、団体の活性化につながる具体的な成果はなかった C：外部との交流には消極的で、団体活性化のための具体的な成果もなかった	B
6	活動の継続性	事業もしくは団体としての活動の継続・発展に向けた実施団体の動きがあるか。	A：団体として具体的な計画を立てている。 B：団体としての動きが多少ある C：継続・発展に向けた動きはない	B

## 特記事項

- ・食を通じて人と人の心を繋ぎ、心を育て、地域住民の交流を図る意義のある事業だと思う。
- ・コロナ禍にあっても、対策を取りながら活動を継続しており、地域の課題解決に積極的に取り組んでいる姿勢を感じる。
- ・社会福祉協議会や他団体と積極的に交流し、地域の理解と賛同を得て、円滑な運営ができたものと思う。今後も、様々な団体と交流を広げ、活動を広げることを期待する。
- ・類似の活動団体と情報共有するなど、工夫しながら運営を継続することを期待する。
- ・地元企業からの支援を募るなど、資金調達を工夫して、活動を継続することを期待する。